

GAPについてご存知ですか？

皆さんは「GAP」という言葉にどのようなイメージを持っているでしょうか？
「言葉は聞いたことあるけど」「詳しくは知らないけど大変そう」など、マイナスのイメージを持っていませんか？

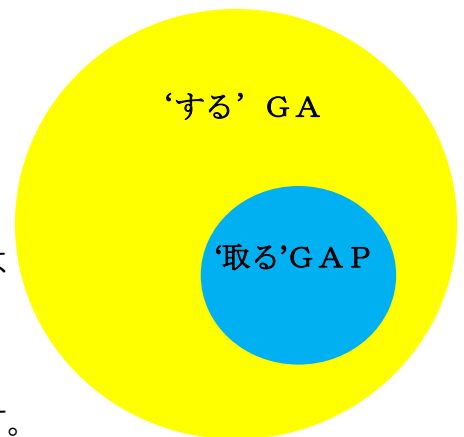
「GAP」とは「Good Agricultural Practice」の略で、日本語では「良い農業の実践」⇒「正しい農業をやっていこう！」という考え方です。GAPの内容は、多くの農業者では、すでに当たり前実践されていることがほとんどです。

ただ、ほんの少しのリスクで事故が起きてしまうのも事実ですので、GAPに取り組み、そのリスクを少しでも減らしましょう。

GAPに取り組むというのは「‘取る’GAP（GLOBALG.A.P.やJGAPなどの認証GAPの取得）」と「‘する’GAP」に分けることができます。「‘取る’GAP」は確かに手間も費用もかかりますが、「‘する’GAP」はあなたがやるだけで良いのです。

自分自身で「どこに危険が潜んでいるか」「このやり方はどうか」を考えて、少しずつ改善していけば良いのです。

または、これまでの作業を見つめ直すことも立派な「‘する’GAP」と言えます。



GAPには「食品安全」「労働安全」「環境保全」に関する項目があります。JAグループ新潟では、消費者・実需者から「JAグループの農産物＝安全」という評価をより強固なものにするため、まずは「食品安全に関する項目」に特化した「JAグループ新潟 食の安全基準」を作成しました。（別紙のとおり）

1つの事故が消費者・実需者の信頼を失うことにもつながりますので、まだGAPに取り組んでいない方は「JAグループ新潟 食の安全基準」から取り組みを始めましょう。

そして、これを機に「良い農業」について考え、将来に向けた持続可能な農業に取り組んでいきましょう。（気づいたらGAPに取り組んでいないのはあなただけかもしれませんよ。。。）

（JA全農にいがた 担い手・営農支援部 担い手・営農支援課）